

ふれあいまつり開催

ふれあい夏祭り（ふれあいレインボー主催）が、8月6日（土）に山の神グラウンドで行われました。ふれあいレインボーは、第三小学校校区のコミュニティです。

この祭りは、同コミュニティと同校区内の6行政区区が一緒になって取り組み、開催しているものです。多くの校区内の人たちが訪れ、夏の暑い夜を楽しく過ごしました。

会場はやぐらを中心に、ステージや多くの出店が設置されました。ステージイベントでは演奏やダンス、総踊りが行われました。



今年も大活躍のレインボーファイブ

日頃の成果を遺憾なく発揮



地域によって守られ続ける伝統行事

8月15日（月）、新原区、須恵区の伝統行事の盆綱引きが行われました。わらやかづらなどを使って、長さ20m、直径15cmほどの盆綱を編みます。区内を歩いたあと、綱引きをし、綱を切ります。

盆綱引きは、「子どもの健康を願う」、「先祖の霊を慰める」と言われています。

新原区では、明治時代から始まったと言われ、現在では青年部を中心に行われています。須恵区では、10数年間途絶えていましたが、30年～40年ほど前に新原区をお手本に復活しました。現在は、子ども会育成会が主催しています。

子どもも大人も一緒に、大きな掛け声で町内を練り歩き、元気よく綱引きをしました。



力いっぱい綱を引きました

第60回糟屋郡民体育大会 団体10部門で優勝！

第60回糟屋郡民体育大会（糟屋地区社会教育振興会・糟屋郡民体育協会主催）が、7月31日（日）に久山町を主会場に行われました。

糟屋郡内から総勢2704人が参加し、陸上、バレーボール、サッカーなど15の競技で熱戦を展開し、優勝を争いました。

須恵町からは、今泉敏英団長以下447人の選手たちが、本町を代表して猛暑の中で練習の成果を十分に発揮しました。

（大会結果は6ページ、糟屋地区体育協会表彰は21ページに掲載）



サッカー



バドミントン



ソフトボール



軟式テニス



相撲



卓球

山笠と「農つ工ら商」のコラボ

町の無形民俗文化財、上須恵祇園山笠の追い山が、7月24日（日）に行われました。

この祇園山笠は、上須恵山笠保存会（中原尚樹会長）が、毎年7月24日に一番近い日曜日に実施しているものです。

この日は朝から晴れ渡り、午前9時、水法被姿の男衆たちは、重さ1トンの飾り山を担ぎ、須賀神社をスタートしました。そして、上須恵区、大島原区内の幹線道路を所狭しと「オッショイ、オッショイ」と掛け声を掛け合いながら、勇壮に駆け抜けました。沿道か



観客から元気をもらい、のっころしよ会場を出発

らは勢い水をかけられ、引き手はずぶ濡れになっていました。

また、同日はカルチャーセンター前駐車場で「農つ工ら商」も開催されていました。「農つ工ら商」は、昨年11月に初めて開催されてから3回目。多くの人々が来場し、たくさん買い物をしていました。

そして、山笠がのっころしよ会場へ。見事に飾られた山笠の周りに人だかりができ、写真などを撮影していました。



↑子どもたちも元気に担ぎました



今回も多くの人々が訪れました



冷たいかき氷が欲しくなる暑さでした

水は大切な限りある資源です

毎年8月1日の「水の日」から同月7日までは「水の週間」です。これは、福岡都市圏の生活や産業を支える重要な水資源の計画的な開発や合理的な水利用、水がもつ多面的な機能の有効活用を推進することを目的に行われているものです。

この水の週間に伴い、8月1日（月）に、JR須恵中央駅、JR須恵駅などで街頭キャンペーンを行いました。朝7時から町職員がJR各駅で通勤・通学者を対象に、また、夕方からはスーパー前で買物客を対象に水の大切さを呼びかけました。

限りある水を大切に使いましょう。



水を大切に！とPRしました